

ディスクロージャー誌

令和2年度上半期

淡路日の出農業協同組合

住所 兵庫県淡路市志筑3112-14
電話 0799-62-6200(代)

目 次

ごあいさつ	
JAのプロフィール	1
1. 経営理念	2
2. 経営方針	2
3. 事業活動のトピックス	3
4. 農業振興活動	4
5. 地域貢献情報	4
6. JA淡路日の出の自己改革の取り組み状況	6
7. 事業の概況(令和元年度上半期)	7
(1)主要事業	7
(2)事業実績の推移	8
(3)有価証券の時価情報	8
(4)自己資本比率(単体)	8
8. 金融再生法開示債権区分に基づく保全状況	9

※ 千円単位の記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しています。

ごあいさつ

日頃、皆さま方には格別のご愛顧をいただき厚くお礼申し上げます。

JA淡路日の出は、情報開示を通じて経営の透明性を高めるとともに、当JAに対するご理解を一層深めていただくために、当JAの主な事業の内容や組織概要、経営の内容などについて、わかりやすくまとめた「令和2年度上半期ディスクロージャー誌」を作成いたしました。

皆さま方が当JAの事業をさらに安心してご利用いただくため、是非ご一読いただきますようお願い申し上げます。

今後とも、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

淡路日の出農業協同組合
代表理事組合長 相坂 有俊

プロフィール(令和2年9月末)

設 立	平成5年10月1日(6JA合併)
本 店 所 在 地	兵庫県淡路市志筑3112-14
出 資 金	18億円
総 資 産	2,832億円
組 合 員 数	17,362名
役 員 数	24名
職 員 数	305名
支 店 数	11支店

1. 経営理念

当JAは、洲本市・淡路市を事業区域とした地帯で、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助(お互いに助け合い、お互いに発展していくこと)を共通の理念として運営している協同組織です。

当JAの資金は、その大半が組合員のみなさまおよび地域住民のみなさまなどからお預かりした、大切な財産である「貯金」を源泉としております。その資金を必要とされる組合員のみなさまおよび地域住民のみなさま方や、地方公共団体などにご利用いただいております。

当JAは、農業者ニーズに応え、担い手をサポートし、「農業」と「地域社会」の未来に貢献するため、「持続可能で継承できる農業の実現」「JAの総合事業を通じた地域社会との連携の実現」「経営管理の高度化とJA事業活動を支える人づくり」の3つのビジョンに基づき経営に取り組みます。

組合員とともに農業と地域社会の未来に貢献するJAづくり
～JA淡路日の出は、食と農を支え、
地域に根ざした協同活動を実践します。～

2. 経営方針

◇ 持続可能な農業の実現

営農経済事業体制・機能の強化により、地域農業の担い手を育成・支援し、農業者の所得向上と農業生産の拡大を進め、持続可能で継承できる農業の実現をめざします。

◇ 地域に密着した「共感」していただける協同活動の展開

地域に開かれた協同組合として、総合事業を通じたサービスの提供および地域に密着したJAファンづくり活動により、「共感」していただける協同活動をめざします。

◇ JA経営基盤の確立・強化と人づくり

内部統制の整備とリスク管理体制の強化により、経営基盤の確立に取り組むとともに、自ら考え行動できる人材の育成に努めます。

3. 事業活動のトピックス(令和2年度上半期)

月 日	おもな行事
4月1日	令和2度新採用職員入組
4月7日	玉葱育苗施設竣工式
5月13日	「淡の春」初出荷
5/14～5/15・5/20～5/22	期末監査Ⅱ
6月9日	淡路島たまねぎ贈呈式
6月20日	第27回通常総代会
7/7～7/10	新型コロナ支援事業説明会
7月8日	淡路和牛多頭生産研究会役員総会
7月10日	淡路和牛愛好女性会役員総会
7月13日	淡路和牛肥育研究会役員総会
7/18～7/19	農機・自動車合同展示会
7月19日	休日相談会
7/27～7/29	第1四半期末監事監査
7月28日	年金友の会役員会
7月31日	和牛改良組合総会
8月28日	農業用廃ビニール回収
9月12日	洲本市畜産共進会
9月15日	淡路市畜産共進会
9月15日	エコキャップ運動(NPO法人へキャップ送付)
9月16日	淡路島いちじく品評会
9/24～9/25・9/28～9/29	会計監査人監査(期中Ⅰ)
9月26日	第27回淡路日の出畜産共進会

4. 農業振興活動

当JAは、第4次地域営農振興計画を策定し、農業者所得の増大と農業生産拡大等による持続可能な農業の実現に取り組みます。また、販売力強化および生産力強化とコスト低減ならびに農業管理支援、さらには農業の有する多面的機能の発揮、経済事業改革にも取り組みます。

(1) 農業者所得の増大

多収穫米(どんとこい)による契約栽培を振興作物に位置づけた特産地化をすすめています。また、七宝早生たまねぎの愛称「淡の春」とイメージキャラクターである「ナナちゃん」による季節限定商品化した販売戦略の展開を図っています。

(2) 農業生産の拡大

各支店で水稲、淡路島たまねぎの栽培やたまねぎべと病防除に向けた勉強会を開催しています。また、行政が主催する集落営農育成会議に出席し、集落営農としての栽培作物・加工野菜(加工キャベツ)・契約栽培米などについて提案をしています。

(3) 地域農業の活性化

地消地産の拠点である農産物直売所の安定経営のため、栽培ガイドおよび農業事典の活用による生産者研修等を実施しています。

また、遊休農地の活用による農業技術の習得と担い手育成のサポートを行っています。

5. 地域貢献情報

当JAは、JAの協同組合活動の原点である「組合員の営農と暮らし」を守り、地域農業の振興に努めるとともに、地域社会の発展に貢献するため様々な活動を展開しています。

(1) 社会貢献活動

① 環境問題への取り組み状況

「地球にやさしい農業」への取り組みとして、定期的に廃プラスチック・ビニール等の回収および不要農薬の回収を実施しています。

(2) 地域貢献活動

① 地域からの資金調達の状況

ア. 貯金残高(令和2年9月末現在)

(単位:百万円)

種 類	残 高
当 座 性	51,572
定 期 性	206,712
小 計	258,285
譲 渡 性	0
合 計	258,285

② 地域への資金供給の状況

ア. 貸出金残高(令和2年9月末現在)

(単位:百万円)

種 類	残 高
農業近代化資金	4
その他制度資金	62
農業関連融資	372
事業関連融資	7,190
住宅関連融資	23,598
生活関連融資	867
そ の 他	192
合 計	32,288

③ 文化的・社会的貢献に関する事項

ア. 福祉活動

介護保険制度の訪問介護事業者の指定を受け、サービスの提供を行っています。また、高齢者への生活介護援助・助け合いなどの活動に取り組んでいます。

イ. 職員の地域貢献活動への参加

職員は、地域清掃活動や消防団活動をはじめとした社会活動に積極的に参加し、地域に根ざした活動を実践しております。

6. JA淡路日の出の自己改革の取り組み状況について

(1) 第2次自己改革の考え方について

JA淡路日の出では、農業者ニーズに応え、担い手をサポートし、農業者や地域住民と一体になって「持続可能な農業の実現」を目指しています。そこで、「農業者所得の向上と農業生産の拡大」「地域農業の担い手の育成・支援」「営農経済事業体制・機能の強化」「地域農業の活性化」を基本目標とした自己改革をすすめます。この目標を達成するため当JAは、自主・自立の協同組合であることを鮮明にし、組合員の意思に基づき、今まで以上の創意工夫を発揮し、積極的に新たな事業展開に取り組めます。

(2) 自己改革の取り組みについて

当JAでは、自己改革の取り組みについて「組合員とともに農業と地域社会の未来に貢献するJAづくり」を経営理念とした3か年事業経営計画を基本にしています。

JA淡路日の出 3か年事業経営計画書(令和2年度～令和4年度)

【経営理念】

組合員とともに農業と地域社会の未来に貢献するJAづくり

【基本方針】

- ①持続可能な農業の実現
- ②地域に密着した「共感」していただける協同活動の展開
- ③JA経営基盤の確立・強化と人づくり

なかでも、最重要課題である「農業者所得の向上と農業生産の拡大」の達成に向けた取り組みについては、『JA淡路日の出 第2次自己改革プログラム』として、役職員が一丸となって実践しています。

(3) 今後の取り組みについて

『第2次JA淡路日の出 自己改革プログラム』に掲げる取り組みについては、3か年事業経営計画および単年度事業計画のなかで重点的に進捗管理を行い、着実に実践していきます。

引き続き、組合員みなさまとともに自己改革を実践しますので、ご協力をお願いします。

7. 事業の概況(令和2年度上半期)

日本経済は、雇用環境の改善などにより緩やかな回復基調にある中、消費税率引き上げに伴う影響も少なく推移しました。年明け2月からは新型コロナウイルス感染症の拡大により経済は減速傾向に進みました。農政面では、政府が令和元年5月までの5か年にわたる農協改革集中推進期間においてJAグループの自己改革は進展していると一定の評価を示した一方、令和元年6月に閣議決定された規制改革実施計画では引き続き自己改革の取り組みを促すこととされており、JAは今後さらなる取り組みが求められています。

その結果、令和2年9月末日現在の当期剰余金は2億99百万円となり、計画対比157.5%となりました。

(1) 主要事業

① 信用事業

利用者に信用・信頼される地域金融機関としての機能の充実に努めるとともに、新規開拓に取り組み、取引先の拡大をはかりました。

この結果、9月末貯金残高は2,582億85百万円と期首残高に対して2.5%の伸張率となりました。

また、貸出金は住宅・自動車・教育ローン等の獲得により、9月末貸出金実績は、322億88百万円となりました。

② 共済事業

組合員とその家族、さらには地域住民を含めた幅広い普及活動の展開により、長期・年金・自動車・自賠責共済など必要な人に必要な保障の提供をはかる推進活動を展開しました。

この結果、長期共済の新契約高は9月末現在で177億11百万円の実績となりました。

③ 購買事業

利用者ニーズに応えた安全・安心で適正な商品を提供しました。

この結果、購買品供給高は、9月末現在で10億64百万円の実績となりました。

④ 販売事業

生産者部会を中心に、生産履歴の記帳を徹底し、消費者への食の安全・安心と信頼の確保に努めました。

この結果、販売品販売高は、9月末現在で18億52百万円の実績となりました。

⑤ 指導事業

品質向上に向けた栽培方法やコスト低減に向けた栽培体系の見直し、新たな栽培・防除技術の導入に取り組むとともに、農業の担い手の育成に努めました。

(2) 事業実績の推移

(単位:百万円)

項 目		令和2年9月末	令和2年3月末	令和元年9月末
信用事業	貯 金	258,285	251,907	250,153
	貸 出 金	32,288	32,466	33,023
	預 金	222,040	213,715	214,175
	有 価 証 券	5,755	5,823	6,492
共済事業	長期共済保有高	446,236	454,310	461,592
	長期共済新契約高	17,711	30,883	19,232
	短期共済新契約掛金	271	610	280
経済事業	購買品供給高	1,064	2,176	1,173
	販売品販売高	1,852	4,544	2,174

(3) 有価証券の時価情報

(単位:百万円)

保 有 区 分	令和2年9月末			令和2年3月末		
	取得価額	時 価	評価損益	取得価額	時 価	評価損益
売 買 目 的	-	-	-	-	-	-
満期保有目的	3,604	3,844	240	3,704	3,965	261
そ の 他	2,361	2,151	△209	2,348	2,119	△229
合 計	5,965	5,995	31	6,052	6,085	32

(注) 1. 時価は市場価格等により計上しています。

2. 取得価格は取得原価または償却原価により計上しています。

3. 満期保有目的の債券については、取得価額を計上しております。

4. その他有価証券については、時価としております。

(4) 自己資本比率(単体)

令和2年9月末	令和2年3月末
19.53%	19.44%

(新BIS基準による)

8. 金融再生法開示債権区分に基づく保全状況

(単位:百万円、%)

債権区分	令和2年9月末	令和2年3月末
破産更正債権及びこれらに準ずる債権	32	2
危険債権	46	44
要管理債権	19	—
小計(A)	98	47
保全額(合計)(B)	98	47
担保	0	0
保証	98	46
引当	0	0
保全率(B/A)	100	100
正常債権	32,215	32,450
合計	32,314	32,497

(注)1. 上記の債権区分は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」(平成10年法律第132号)第6条に基づき、債務者の財政状態及び経営成績等を基礎として次のとおり区分したものです。

①破産更正債権及びこれらに準ずる債権

法的破綻等による経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権

②危険債権

経営破綻の状況にはないが、財政状況の悪化等により元本及び利息の回収ができない可能性の高い債権

③要管理債権

3ヵ月以上延滞貸出債権(元金又は利息の支払が、約定支払日の翌日を起算日として3ヵ月以上延滞している貸出債権)及び貸出条件緩和貸出債権(経済的困難に陥った債務者の再建又は支援をはかり、当該債権の回収を促進すること等を目的に、債務者に有利な一定の譲歩を与える約定条件の改定等を行った貸出債権)

④正常債権

上記以外の債権

(注)2. 平成31年3月末から9月末までの間に、債務者区分の変更が必要と認識した先については、9月末時点の債務者の状況に基づき債務者区分を変更し、各債権額は令和元年9月末時点の残高に修正しています。



JA淡路日の出